

送水管の保守管理と漏水対策



測量機械の扱いは経験が必要



ヒューム管の継ぎ目を中心に念入りに調べながら、慎重に手当の充填を行っています。専用の補修材を購入したもので、それを使用しました。充填剤と接着剤がセットになったもので、少量の水を使用することで接着が可能になるものです。送水管の延長は180

2月2日、送水管の保守管理作業を実施しました。ひとは毎年行っている送水管の測量です。決まったところの高さを測定して、何か問題になることの予兆はないか調べています。ここ何年もの間測定を続けていますが、大きな問題はありません。同じ送水管の漏水補修も行いました。従来、接着剤の封入や、シリコンシーラント剤の充填を行っていましたが、専用の補修材を購入したもので、それを使用しました。



中四国9県から集まった参加者の熱気に包まれた会場(1月30日)

中国四国多面的支払シンポジウムin島根で先進事例を学ぶ

1月30日、令和6年度多面的機能支払中国四国シンポジウムが島根県松江市で開催されました。会場は「くにびきメッセ」という施設です。中国四国各地区から850名を越す参加者がありました。今年度の中国四国農政局最優秀賞の団体の事例発表もあり、先進的な活動団体の状況を学ばせていただきました。今年の最優秀団体は鳥取県八頭町「下町水土里」です。1月30日、令和6年度多面的機能支払中国四国シンポジウムが島根県松江市で開催されました。会場は「くにびきメッセ」という施設です。中国四国各地区から850名を越す参加者がありました。今年度の中国四国農政局最優秀賞の団体の事例発表もあり、先進的な活動団体の状況を学ばせていただきました。今年の最優秀団体は鳥取県八頭町「下町水土里」です。

メートルあります。榎野川から汲み上げた農業用水は、この管を流れて、地区の圃場全体を潤していきます。送水管の中間部分には柵が残っている部分があります。かつて、榎野川からの取水ができない時代には、九田川(送水管の北側の水路)から汲み上げていた時代もありました。そうした困難な時代を経て、今日があります。

自治会緊急連絡網にご参加ください



メールの場合は左上のQRコード

LINEの場合は右下のQRコード



水路の土砂の除去

配水路の中で泥上げの出来なかった部分について、業者さんをお願いして除去作業を行いました。

ここは山からの水の流入のために流れがせき止められるようになり、土砂が大量に堆積してしまふところでした。3トン近い土砂が除去できました。



厳しい寒さの朝の作業

市の事業を推し進めよう

浸水常襲地帯における排水対策の強化
小郡八方原地区における排水ポンプ設備の導入
 移動式排水ポンプ設備の導入 水防活動業務【防災危機管理課など】 123,200千円
 ポンプ排水に係る排水管整備工事の実施 総合浸水対策事業【河川治水課】 30,000千円

浸水常襲地帯における内水氾濫等による浸水被害の軽減を図るため、移動式排水ポンプを活用し、排水業務の強化を行っています。
 令和7年度は、令和5年6月から7月の大雨災害、令和6年7月の大雨災害において、特に浸水被害が大きかった小郡八方原地区における浸水被害の軽減を図るため、新たに移動式の排水ポンプ設備の導入およびポンプ排水に係る排水管整備工事を行います。

令和6年7月1日からの大雨による浸水被害

強力なポンプが県道の下を通る水管で排水予定 令和7年度山口市予算書（HP 公開中）から転載。

西ノ池農道の水路を自主施工で準備

今年度の長寿命化事業は西ノ池農道南側水路（水路2B）の嵩上げ工事をすることとなりました。昨年度の工事の延長部分となります。

工事に関して自主施工部分が必要となります。該当部分の除草・清掃作業を行いました。水田側の雑草、水路のコンクリート面にこびり



雑草が水田から水路の中まで入り込んでいる

に令和5年の計画の延長という形をとったので、前年度の未着手部分の施工となりました。

ついた泥やコケなどを丁寧に除去しました。

長寿命化事業は、当初の計画で、施工箇所を決めています。しかし、5年計画の最終年、令和6年3月に国の農業基本法の改正があったために、新5年計画を定めずに、暫定的

「国の事業」となるか「4つの砂防堰堤」の建設

水害対策の一環として農林分野の担当となる「治山事業」について、令和7年度の国の事業の採択に間に合うかもしれないということになり、急遽関係者の同意を得るために多くの方々にご協力をお願いしました。

国の治山事業になると、防災のための山地となり、「保安林」として税金は免除となりますが、伐採などにも、許可申請が必要になります。

地区の関係者の皆さん、岩屋地区の皆さんのご協力が欠かせません。



事業の申請のために作成した計画図。この計画が採択されるかどうかまだ、未定。

家も道も田んぼも雪に覆われた土曜日の朝



空は少し晴れてきたけれども、何もかも真っ白（2月8日）